

くまそう

vol. 23 24.
08.

summer season

Kumagaya
General
Hospital
News Letter

CONTENTS

理事長就任のご挨拶
新任常勤医 紹介
くまそうの窓口コンシェルジュ紹介
診療科紹介 小児科
部署紹介 栄養科
まちの医療機関
くまそうTOPICS

理事長就任の挨拶

ポストコロナ、
少子高齢化の時代、
熊谷地域の医療を守る
”Think globally, Act locally”

理事長
中村 信一



熊谷地域の皆様、当院をご利用いただいている患者様とご家族の皆様方には、ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

今回、この書面をお借りして私から皆様にご報告申し上げたい事がございます。

私、埼玉医科大学より熊谷総合病院に赴任して15年の歳月を過ごし、この度、理事長の職を拝命し新しく大きな責務を担う事と相成りました。思うに、理事長としての私の新たな使命は何かと申しますと、先代、橋本郁郎理事長の最新医療を提供し地域医療に貢献するという高い志と、この地熊谷に長い歴史を刻む当院の役割を忘れることなく、この流れを継続しつつ時代の医療ニーズに対応しながら当院を変革、成長させてゆく事と考えております。私、甚だ不慣れな者ですが、これからも皆様の応援とご指導、宜しくお願い申し上げます。

さて、現在、世間は少子高齢化の進む中、ようやく新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したものの、依然、その流行は収まることを知りません。また、国内の大規模な地震、大雨などの甚大な自然災害による被害はもとより、世界に目を向けますと、超大国の隣国軍事侵攻や想像をはるかに超える宗教戦争の勃発などにより社会が大きく揺れ、分断されております。このように現代社会は行き先の見えない不安定な状況下にあります。私、新たな立場より引き続き地域を守る医療人としての感覚を磨き、今野慎院長と共に力を合わせて皆様にとっても私達にとっても最高の病院、「自分がかかりたい病院、安心して自分の家族を任せられる病院」を目指して誠意一杯の努力をする所存でおります。

皆様、”Think globally, Act locally” これからも私共々地域の医療を守る我々熊谷総合病院を宜しくお願い申し上げます。



2024年7月1日 今野病院長と 熊谷うちわ祭にて

新任常勤医のご紹介

新しく就任された医師をご紹介させていただきます。
略歴・専門分野についてはホームページの診療科・部署紹介をご確認ください。

- 氏名 栗山 知之
- 専門 麻酔科
- 出身大学 長崎大学
- 資格 麻酔科専門医
- 趣味 私は趣味が特にありませんが、その分、仕事や日常生活に集中できると考えています。皆様と共に働き、成長し、学び合うことを楽しみにしております。

○自己紹介・あいさつ

この度、新たに常勤医師として麻酔科に配属されました栗山と申します。私自身、この専門分野での責任と使命を深く理解し、患者様の安全と快適な治療環境の確保に全力で取り組んでまいります。これまでの経験を活かし、そして新しい知識や技術を学びながら、チームの一員として貢献していけることを心から楽しみにしております。



くまそうの窓口 コンシェルジュのご紹介

医事課 医療コンシェルジュ
中村 梨香



はじめまして。医療コンシェルジュの中村です。
患者さんにとって安心できる存在を目指し、日々業務に取り組んでおります。医療コンシェルジュを設置することで、質の高い接遇の提供、患者さんのスムーズなご案内が実現できると考えております。
トライアル期間中に行った調査では、
・入口に案内の方がいることでちょっとしたことも相談できるようになった
・とても優しい対応で印象が良かった
・書類について事前に調べてくれたことでスムーズに受付ができた
等々、多くの嬉しいお言葉をいただくことができました。
8月より、正式に医療コンシェルジュを設置いたします。
熊谷総合病院がより地域の皆さまに選ばれる病院になるよう尽力いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。
何かお困りの際やご来院時、お気軽にお声掛けいただけますと幸いです。

小児科

小児科医長 古賀 健史 先生

小児科学会専門医・指導医
アレルギー学会専門医・指導医

● 幅広い診療

小児科全般の幅広い診療を行っております。新生児から思春期までのあらゆる年齢層の子どもたちに対応し、一般的な病気から専門的な疾患まで、幅広く対応します。

● 入院管理

「ちょっと点滴が必要」「一晩経過観察をしたい」などの1泊入院から、精査や継続的なケアを要する入院まで対応いたします。さまざまな疾患に対して適切な治療を提供する入院施設を完備しております。

● 専門外来の充実

各分野の専門医が最新の知見と技術を駆使して診療を行います。内分泌疾患、循環器疾患、神経疾患、腎臓疾患、アレルギー・呼吸器疾患、新生児・発達など、多岐にわたる専門外来があります。

● アレルギー・呼吸器外来を新設しました！

本年度より日本アレルギー学会認定専門医・指導医によるアレルギー外来を新設いたしました。食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息、慢性咳嗽などのさまざまなアレルギー・呼吸器疾患に対応します。

★ 食物アレルギー

乳幼児から発症する消化管アレルギー、よく知られている即時型アレルギー、思春期～成人発症の花粉・食物アレルギーなど様々な食物関連のアレルギーに対し、適切な診断とケアを提供します。



たまご



乳



小麦



そば



えび



かに



落花生

日帰り入院食物経口負荷試験を始めました♪

食物アレルギーの管理目標は「正しい診断に基づいた必要最小限の除去」です。残念ながら、採血や皮膚検査のみでは正しい評価はできません。採血結果が陽性でも、食べられる可能性は十分にあり、最終的には食物を摂取して確認する必要があります。「給食や外食でみんなと同じものを食べたい」「採血で陽性だったけど、本当に全く食べることはできないのか？どのくらい食べることができるか知りたい」という希望がある一方で、保護者からは「家で食べさせるのは不安」、先生方からも「食べさせたいけど、一般外来診療と並行して対応するのは大変」という声を聞きます。当科では日帰り入院という形でスタッフの管理のもと、安全に必要な最小限の除去を目指します。

★ 食物経口負荷試験の流れ



Food Ladderによる食事指導を行っています♪

お子さんの中には卵や牛乳などそのものの食物が苦手で、除去解除が進んでいない場合があります。Food Ladderは該当食物が少量含有する加工品から摂取をはじめ、段階的に含有量の高い食品を食べ、最終的にそのものを摂取していく方法です。そのものを無理して摂取することなく、日常の食生活で摂取したい食品を積極的に選択していきます。摂取量の決定や初回摂取で心配な場合は、日帰り入院食物負荷試験で対応します。この方法はイギリスやオーストラリアなどから有効性や安全性の報告はあり、そのものを摂取するより、アレルギー症状の出現率は低く、食べられるようになる可能性も同等とされています。

★ アトピー性皮膚炎 非ステロイド外用薬・注射薬・内服薬の導入ができます♪

今までは小児のアトピー性皮膚炎の治療はステロイド外用薬を中心とする抗炎症外用療法が主でした。近年、分子標的薬と言われる、新しい薬（非ステロイド外用薬や皮下注射薬・内服薬）がたくさん出てきました。当科ではこのような薬剤を積極的に使用しています。ただし、治療の基本はスキンケア（保湿や清潔）と外用療法です。これらが十分に行われているか評価したうえで、湿疹の改善が十分でない場合は注射薬や内服薬を用います。「なるべくステロイドを使いたくない」「痒みをとりたい」「塗り薬が大変」と考えている方、湿疹状況や年齢によって使用可能な薬剤が変わってきますので、興味のある方はまず話を聞きに来てください。

★ アレルギー性鼻炎 舌下免疫療法を行っています♪

スギ花粉症やダニによる鼻炎に対して、舌下免疫療法を行っております。初回内服時・増量時は院内で内服してもらい、アレルギー症状出現の有無を30分程度確認しており、安全に導入することができます。仮に、アレルギー症状が出現した患者さんでも、抗ヒスタミン薬の併用や少量による維持を行うことで継続できる可能性があります。舌下免疫療法は3-5年間継続することが重要であるため、治療のモチベーションを継続させる取り組みも行っています。

★ 慢性咳嗽・喘鳴・気管支喘息など

「夜間の咳が止まらない」「咳が長引く」「小さい時からよくゼーゼーする」「息苦しさや喉が締め付けられる感じがある」などありましたら当科で精査を行います。また、気管支喘息のコントロールがつかないなどありましたら、精査やステロイド吸入指導の見直しなども行っております。

くまそうHP/小児科



くまそうHP/外来医師担当表



部署紹介 栄養科

管理栄養士 8名

(2024年7月1日現在)

委託会社 栄養士 5名、調理師 3名、調理員 11名、パート 3名

栄養科では、入院患者様への栄養管理、栄養指導、多職種によるチーム医療に取り組んでいます。外来患者様には外来栄養指導を実施しており、継続した支援も行っています。今年度より管理栄養士が増え、より細やかな栄養管理に努めています。

主な業務

栄養管理・入院栄養指導

入院患者様へ栄養管理の計画を行っています。特別な食事の対応が必要な患者様には治療食の提供と栄養指導を行い、食事改善のアドバイスをさせていただきます。

栄養状態が悪い患者様は、管理栄養士が食事の際にベッドサイドに訪問し、症状や原因のアセスメントを行っています。医師、看護師、言語聴覚士などと相談しながら食種、食事の形や量、食べやすい食品や栄養補助食品の提案をさせていただきます。食事を摂るのが難しい患者様は、鼻から胃や小腸にチューブを挿入し管を通した栄養管理を行うことがあります。栄養サポート（NST）チームへ引き継ぐなど適切な栄養補給に関わっています。



外来栄養指導 外来栄養指導は予約制となります。

医師の指示のもと、生活習慣病といわれる糖尿病、高血圧症、脂質異常症など栄養指導の対象とされた疾患のある方、またそのご家族に向けて食事のご提案をさせていただきます。

化学療法の副作用により食事がとれない等でお困りのことがあれば、ご相談をお受けしています。

平日（月～金）午前/午後、

土曜は第1・3・5の午前のみ実施しています。

外来受診されている方は、主治医にご相談ください。



チーム医療への参加

栄養サポートチーム（NST）では、特定の資格・研修を受けた医師、管理栄養士、看護師、薬剤師がチームとなり、低栄養状態または低栄養が予想される患者様に適切な栄養管理の提案をしています。

褥瘡（じょくそう）対策チームでは、褥瘡（寝たきり等により体重で圧迫された皮膚にできた傷）を治療するだけでなく、栄養状態の評価をしています。

摂食嚥下機能回復体制チームでは、嚥下内視鏡検査（VE）や嚥下造影検査（VF）の結果を元に、飲み込みの機能に合わせた食事内容、食事の形の調整を行います。

管理栄養士は必要栄養量を元に栄養管理の提案を行い、患者様の入院期間の短縮やQOL（生活の質）の維持・向上に貢献できるよう努めています。



給食業務

食事は治療の一環として患者様に合わせた内容で提供しています。食事の形は、歯や飲み込みの状態に合わせてきざみやペースト等に対応しています。献立は28日のサイクルメニューとなっており、更に季節ごとに食材や料理を変える工夫をしています。また、入院中も季節を感じていただけるように行事食の提供を行っています。温冷配膳車による適温の食事提供を行っており、安全かつ衛生的な配慮に努めています。

※食物アレルギーのある方は、ご入院時にお申し出ください。



行事食

- 1月 お正月
- 2月 バレンタイン
- 3月 ひなまつり
- 4月 花見
- 5月 こどもの日
- 7月 セタ
- 12月 クリスマス、大晦日



入院中の患者様にとって、毎日の食事が楽しみであると思えます。患者様から寄せていただいた声を大切に、美味しく健康的な食事の提供を目指してまいります。



～くまそうの医療連携パートナーをご紹介します～

まちの医療機関

No.026

くりはら皮フ形成外科 TEL:048-598-7092

URL:<https://www.kuri-dps-curi.com/>



- 診療科 形成外科・皮膚科・自由診療
- 住所 熊谷市上之2559-18
- 院長 栗原 健 先生
- 駐車場 4台 (2025年増設予定)
- 診療所の特色

明るい雰囲気、あまり診療所らしくないクリニックです。病だからとふさぎ込まずに、明るい気持ちで帰ってもらえるクリニックでありたいと考えています。今まで気にはなっていたけど、病院に行って相談するには敷居が高く感じていた腫瘍や皮フ病変、イボ、シミなどあれば、治療法も患者さんの意向をできる限り尊重しますので、ホームページからご予約の上、お気軽にご来院ください。インターネットが不得手な方は、お電話でも予約を受け付けております。

■院長先生のモットー・大切にされていること

患者さんの不安に寄り添い、できる限りわかりやすく、丁寧な診療を心がけています。話しかけやすい身近な存在となれるよう、親しみやすい医師でありたいと思っています。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:00	●	●	●	-	●	●	-
PM 15:00~18:00	●	▲	●	-	▲	-	-

●:WEB予約可能 ▲:完全予約施術枠(患者さんからの直接予約不可)
■休診日:木、日、祝日、土(午後)◆前日まで、WEB予約を受付けております。当日のご予約につきましては、直接お電話でお問い合わせください。窓口予約は、基本、午前は12時まで、午後は18時までですが、混雑時当日の受付を早めに締め切ることがあります。

No.027

松崎整形外科

TEL:048-527-1511

URL:<https://www.matsu-seikei-kumagaya.com/>



- 診療科 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科・内科
- 住所 熊谷市上之 3137-5
- 院長 松崎 憲次 先生
- 駐車場 20台
- 診療所の特色

各種整形外科疾患(腰痛、膝痛、肩こり、手足のシビレ等)に加え、スポーツ医学、骨粗鬆症等の診療に力を入れています。

■院長先生のモットー・大切にされていること

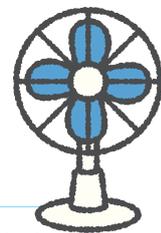
患者様一人一人の心身の健康回復に全力を尽くすことを常に心がけています。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~13:00	●	●	●	-	●	●	1.3 ※
PM 15:00~18:30	●	●	●	-	●	-	-

※R6年9月より、第1.3日曜午前(8:30~12:00診療あり)
■休診日 木・土、日(午後)・祝

マイナ マイナ保険証の対応



当院ではマイナンバーカードを健康保険証としてご利用いただけます。

ご利用いただくことで、これまでよりも正確な本人確認や患者さんの同意により限度額の情報を得ることができ限度額以上の医療費を窓口で支払う必要がなくなります。また過去の医療情報の取得・活用した診療を行うことができるようになります。当院は顔認証付きカードリーダーを総合受付フロアに2ヶ所、救急入口に1ヶ所設置しております。受診の際にはマイナンバーカードをお持ちください。



機械操作 タッチパネル画面の表示に従って進んで下さい

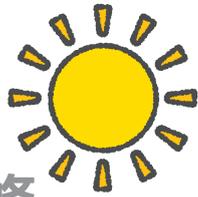


5/18 母の日キャンペーン

【共催】NPO法人くまがや ピンクリボンの会

今回で2年目となるNPO法人ピンクリボンの会の皆様との乳がん撲滅のための啓発を2024年5月18日（土）に行いました。今年は、埼玉医科大学総合医療センター緩和医療科 儀賀先生による「あなたのわたしはどこにいますか～内なる声をきくということ～」をご講演いただきました。がんに関する教育の貴重なご講演でした。その後、リフレッシュ体操やお化粧品教室の開催などを行い約100名の方にご参加いただきました。多くの方にがん教育の啓発活動を行うことができました。当健診センターでは人間ドックやがん検診のほか、多様な健診オプションメニューをご用意しております。ご自身はもとより、大切なご家族やご友人にも、まずは健康診断でお体を知ることから始めてみませんか？





6/3.5.10.12

MDRPU研修

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 小笠原

今回、MDRPU(医療関連機器褥瘡)の予防・対策について研修をさせていただきました。MDRPUは医療関連機器で発生する褥瘡の事で、皮膚が脆弱な状態だと発生しやすくなります。その為、日々のスキンケアが必要となってきます。そのスキンケアの中でも「保湿ケア」は重要なケアとなっており、保湿ケアを行う事で皮膚のバリア機能も高まります。しかし、塗り方によっては皮膚にダメージを与えてしまう為、皮膚が脆弱な高齢者等には「ローションタイプ」の保湿剤をお勧めしております。日々のスキンケアでMDRPUは防げ、早期発見が出来ますので、今後も患者様へのスキンケアを宜しく願います。皮膚に関連した事であれば、ご自身の事でもお気軽にご相談ください。



6/18

看護部 ラダー研修II -② リフレクション



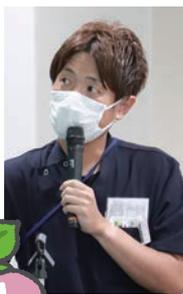
看護部ラダーレベルII -②研修は新人ナースをサポートするプリセプターを対象にした研修を実施しています。今回の研修はリフレクションについて学びました。新人とともに成長するプリセプターも頑張っています！

6/19

医薬品安全管理研修



今年度は新人、中途入職看護師を対象に医薬品安全管理の一環として、取り扱いに注意が必要な薬剤をテーマに研修会を開催しました。医薬品安全管理者として定期的に色々な薬の知識を他職種へ発信できればと考えています。



6/21

看護部 ラダー研修II -① 急変時チームリーダーの役割



看護部では新人～レベルIVの5段階にレベル分類し研修を行っています。レベルIIは「個別の状況に応じた判断と実践を行う」を目標に今年度の研修が開始しました。同じレベルが集合しグループワークを行うことで、急変時の報告方法とチームワークを機能させるためのリーダーとしての役割を学び、他部署との情報交換を行うことができました。研修での学びを現場で発揮できるよう努めてまいります。



6/22 熊総ICLSコース開催



ICLSとは、「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした医療従事者のためのトレーニングコースです。2019年から開催しています。他院・消防からも受講生を受け入れ、実技・実習を中心としたシミュレーションを約1日かけて実施し蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけました。地域医療支援病院として、今後も地域の医療の質向上のために精進して参ります。



第7回

薬剤科

7/19 がん薬薬連携研修会

今回は便秘をテーマとして薬剤科の小谷野薬剤師より院外の薬剤師を対象に講演を行いました。今後も定期的に研修会を開催して地域連携を深めていきたいと思っています。



関東一の祇園

7/21.22 熊谷うちわ祭(救護所)

今年からコミュニティ広場・太陽の広場2か所での対応となり、クーラー完備の救護所が設置されました。看護師4名体制で連日、お子様のけがや高齢者の熱中症対応を行いました。



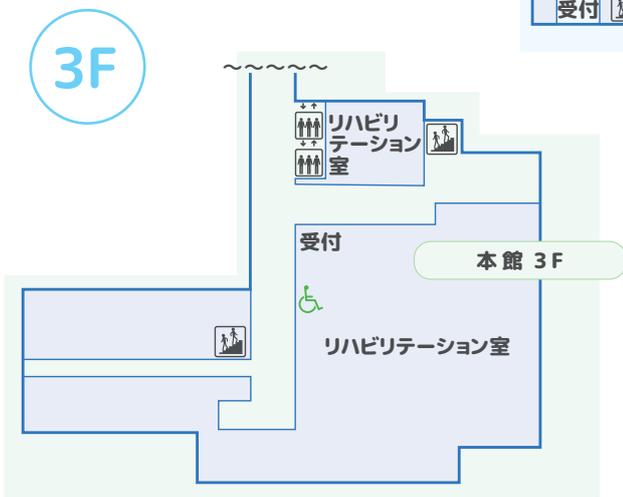
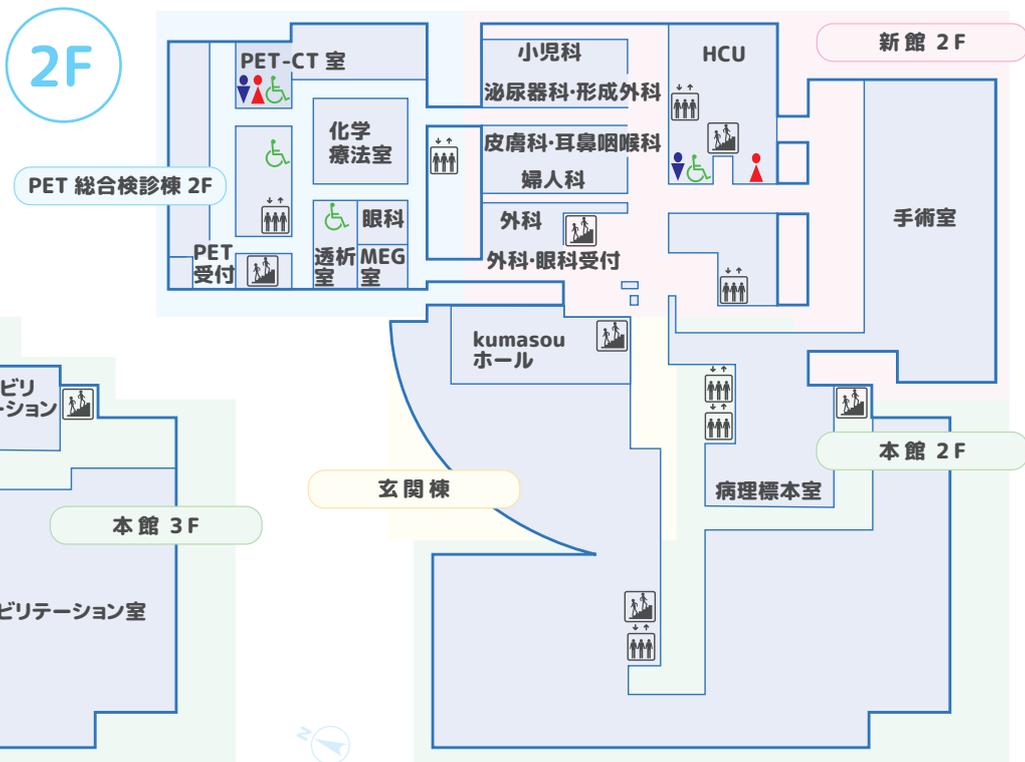
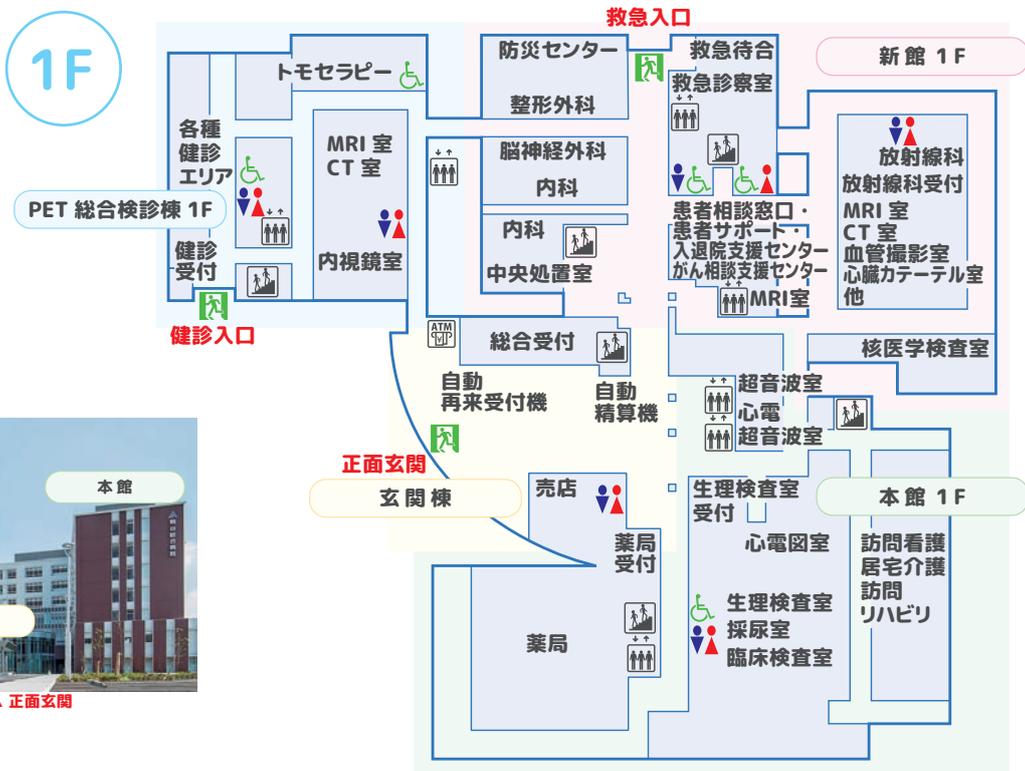
7/25 “アートで築こう地域の輪”

埼玉県立熊谷特別支援学校の
新作品を展示します

正面玄関2階の通路に埼玉県立熊谷特別支援学校の児童生徒さんによる作品を展示しています。今回も新しい作品を展示しましたのでご来院された際には作品の鑑賞を楽しんで頂けたらと思います。



くまそう 院内マップ 1F～3F



病院理念

わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。

- 一. わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
- 一. わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
- 一. わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
- 一. わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。

そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構
認定第JC2211号
機能種別版評価項目
(3rdG:Ver2.0 一般病院2)



〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1
TEL:0570-099-080(ナビダイヤル) FAX:048-523-5928(代)
<https://www.kumasou.or.jp/>

